

消費税の基本と使い道 まるわかりBOOK



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年12月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

消費税の基本と使い道まるわかりBOOK

| 消費税の基本と間接税の仕組み

消費税とは、商品やサービスの購入・提供といった「消費」に対して、広く公平に課税される税金です。税を負担する消費者（担税者）と、代わりに国や地方に納める事業者（納税者）が異なる間接税に分類されます。

納税の仕組み（仕入税額控除）

事業者は、顧客から預かった「売上げに係る消費税額」から、仕入れや経費で支払った「仕入れに係る消費税額」を差し引いた差額を納付します。これにより、税が二重に課税されることを防いでいます。

国内取引は原則課税対象ですが、土地の譲渡や社会保険医療、介護などは非課税取引となります。

消費税の基本と使い道まるわかりBOOK

| 知っておきたい税率と仕組みのポイント

消費税の税率は標準税率10%と軽減税率8%の複数税率制となっています。

税率	対象品目	備考
8%	酒類・外食を除く飲食料品	持ち帰りのみ8%
8%	週2回以上発行される新聞	定期購読契約が条件
10%	上記以外のもの	外食、サービスなど

事業者は、取引を税率ごとに分けて管理する区分経理が必要です。また、消費税額の計算には、原則の一般課税と、特定の条件で選択できる簡易課税の2種類があります。

消費税の基本と使い道まるわかりBOOK

事業者の納税義務とインボイス制度の基礎

事業者は、原則として基準期間の課税売上高が1,000万円以下であれば免税事業者、これを超えると課税事業者となり納税義務が発生します。

2023年10月に開始したインボイス制度は、仕入税額控除の適用を受けるための重要なルールです。控除を受けるには、原則として適格請求書発行事業者が発行したインボイス（適格請求書）の保存が必要です。

計算式（税込価格）※ただし、インボイス制度における端数処理については一定のルールあり

- 標準税率10%の場合：商品価格 × 1.1

消費税の基本と使い道まるわかりBOOK

消費税の使い道と社会保障の財源

消費税は、景気変動に左右されにくく税収が安定しているため、その使途は社会保障の充実と安定に充てられています。増税の理由も、安定的な社会保障の財源確保のためです。

税の内訳	割合	使い道
国税	7.8%	年金、医療費、介護、少子化対策の社会保障4経費
地方税	2.2%	上記に加え、地方の社会保障施策にも充てることができる

消費税は1989年4月に3%で導入されて以来、高齢化社会に対応するための医療や福祉の安定財源として重要な役割を担っています。